オペラ喫茶合同公演

原作「決断・命のビザ」渡辺勝正著
脚本・杉本美鈴
監修・渡辺勝正

たった一人の決断で六千人の命が救われた——
あなたはその事実を知っていましたか？

水澤心吾一人芝居
決断 命のビザ
～“SEMPO”杉原千畝物語～

2009年6月23日
開演19:00（開場18:45）

杉並公会堂 小ホール

同時上演「音楽劇 青い糸」
チケット・公演詳細は裏面をご覧ください。

“日本のシンドラー 杉原千畝（すぎはら ちうね）”

杉原千畝は、第二次世界大戦中、日本の通過ビザを外務省の命令に反して発給することで、当時ドイツ・ヒトラーにより迫害されていたユダヤ人約6,000人を救った日本の外交官。海外では、センポ・スギハラ、「東洋のシンドラー」として知られる。「センポ」とは「千畝」の音読みだが、ユダヤ人が「ちうね」と発音しにくいだろうと、千畝自身が考え、「センポ」と呼ばせたと言う。

杉原千畝は、私たち日本人が、世界に誇ることの出来る人道的行為を行った人物です。けれど、彼に全く迷いがなかったわけではありません。自分はもちろん、妻や子の命の安全が脅かされるかもしれない。そのような状況の中で、悩みぬいた末、決断したのです。一人の人間の「決断」で、六千人もの命が救われたのです。政治や軍隊ではなく、たった一人の人間の決断こそが、世界を変えるのです！人間はとにかく、自分を小さく過小評価しがちですが、一人ひとりの自分の成しうることの大きさを、全ての人にその可能性のあることを、是非、この舞台から「決断」する“勇気”を受け取っていただければと願っております。

水澤 心吾

オペラ喫茶
合同公演

少女がガラスの窓をとおしてみた幻の青年に恋をする物語。

むかしある村に千代と言うみなしごの少女がいました。千代の一番好きな仕事は宿のガラス窓を磨く事。春の初めのある朝、いつものようにガラスを拭きに来た千代は湯気で曇ったガラス窓の奥に不思議な人影を見るのでした。

音楽劇
青い糸

原作：安房直子「青い糸」より
作詞・作曲・ピアノ：新倉一梓
演出：渡辺浩彰（VODALES）

倉谷千明
（ソプラノ）

滝沢健作
（テノール）

山崎勢津子
（朗読）

2009年6月23日（火）
開演19:00（開場18:45）
杉並公会堂 小ホール

同時上演「水澤心吾 一人芝居
決断 命のビザ
～“SEMPO”杉原千畝物語～」

脚本：オペラ喫茶制作委員会
美術：すごう えりな
衣裳：鈴木亜沙美
制作：大西善治（オペラ喫茶）高岡美智子
企画・製作：オペラ喫茶

オペラ喫茶 合同公演（二本同時上演）

「水澤心吾一人芝居 決断 命のビザ ～“SEMPO”杉原千畝物語～ ／ 音楽劇 青い糸」

チケット

一般 2,000円
中学生以下 無料

チケットのご予約・お問い合わせはこちらまで
オペラ喫茶 株式会社
電話：048-475-9808
Mail：operakissa@operakissa.jp

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15

Illustration：ERINA Sugou / Design：HIROAKI Watanabe